

教育センター 相談室

1 所在地 〒320-0816 宇都宮市天神1-1-24

TEL 639-4380（相談は予約制）， FAX 639-4390

2 担当者

(1) 平日相談

- ① 初回面接担当 臨床心理士： 1名（月曜・木曜）
- ② 継続面接担当 教育相談員： 6名（いずれも火曜休）
とらいあんぐる担当教諭・指導員： 3名（不登校を中心に対応）
- ③ 医学的相談担当 小児科医： 1名 月1回程度（午後）
精神科医： 1名 隔月1回程度（午後）

※ 一部の相談は、担当指導主事3名が担当

(2) 日曜相談

- ① 初回面接担当 臨床心理士： 1名
- ② 継続面接担当 相談員： 2名

3 対象

不登校、登校渋り、教室に入れないなどの状態が見られる児童生徒（小・中学生）及びその保護者

- ・ 保護者のみの相談も可能
- ・ 他に、集団不適應、就学、情緒不安定、学業不振などの相談にも対応

※ 就学に係る相談については、就学相談員6名と、担当指導主事3名が対応

※ 集団不適應に関する相談については、学校生活適應支援アドバイザー1名、学校生活適應支援相談員2名も担当

4 開設時間・面接時間

(1) 平日相談 9：00～17：00

- ① 初回面接 90分間
（9：00～，10：30～，13：00～，14：30～）
- ② 継続面接 45分間
（毎時00分～45分まで、ただし各種検査は90～120分間）
- ③ 医学的相談 45分間
小児科（14：00～，15：00～，16：00～）
精神科（13：15～，14：00～）

(2) 日曜相談

- ① 初回面接 90分間
（13：15～，15：00～）
- ② 継続面接 45分間
（13：30～，14：30～，15：30～，ただし各種検査は90～120分間）

各教室・学級の概要



教室MAP



適応支援教室 とらいあんぐる

- 1 所在地 〒320-0816 宇都宮市天神1-1-24 宇都宮市教育センター3階
電話 639-4391 (直通), FAX 639-4390



- 2 担当者 教諭: 1名
指導員: 2名
スクールカウンセラー: 月1回

3 対象

- (1) 気軽に通って自分のペースで過ごしたい児童生徒
- (2) 気持ちの整理がつくまでの当面の居場所を求めている児童生徒
 - ※ 相談の開始後、すぐに居場所として利用可能
 - ※ 教室の利用に当たっては、他の児童生徒と同室できることが前提

4 教室の特色

(1) 継続的な教育相談

- ・ 児童生徒本人や保護者との継続的な教育相談を行い、不登校状態の改善を図る。
- ・ 児童生徒の状態を見極め、学校復帰や他の適応支援教室・相談学級の利用等の検討を行う。
- ・ 6か月間を目安とし、状態により期間を延長する。
- ・ 児童生徒の在籍校や他の適応支援教室・相談学級等と連携を図ることによって、学校復帰や他の適応支援教室への通級・相談学級入級等の自己決定を促す。

(2) 当面の居場所としての教室開放

- ・ 相談の申し込みがあった児童生徒のうち、通級を希望し、適当と判断される者に対して、相談と並行して当面の居場所を提供する。
- ・ 自主活動を中心に、児童生徒の状況に応じて、スポーツや室内ゲーム等の小集団活動を実施する。
- ・ 児童生徒の状態によっては、集団活動にトライ（挑戦）する機会として、他の適応支援教室や相談学級の活動、合同行事への参加を促す。

5 日 課

とらいあんぐる日程表

	月	火	水	木	金
10:00	自主活動	自主活動	自主活動	自主活動	自主活動
10:50	休 息				
11:00	小集団活動 (スポーツ)	自主活動	小集団活動 (室内ゲーム)	自主活動	小集団活動 (室内ゲーム)
11:50					

- ※ 自主活動では、自主学習の他、読書など自分で活動できる活動を行う。
- ※ 小集団活動とは、室内ゲームやスポーツ等、児童生徒の希望により決める。
- ※ 教室の活動時においても、必要に応じて面接・個別対応を実施する。
- ※ 他の適応支援教室や相談学級との活動や、合同行事の際には午後の活動も設定する。

6 「とらいあんぐる」での過ごし方の例

(1) 仮通級中のAさんの場合



10:00	月	火	水	木	金
11:00		自主活動		自主活動	
12:00					

- ※ 仮通級は基本的に自主活動を行います。
- ※ 曜日を決めて通級しますが、曜日を定めることがプレッシャーになる児童生徒については、来られる日の朝に電話連絡をして通級するなどの対応も可能です。

(2) 正式通級になり、週3回通うことになったBさんの場合



10:00	月	火	水	木	金
11:00			自主活動		自主活動
12:00		自主活動	小集団活動		

- ※ 本人の希望を聞きながら、無理のない形での通級を行います。
- ※ 自主活動のみの通級も可能です。

(3) 「とらいあんぐる」に慣れてきて、通級日が増えたCさんの場合



10:00	月	火	水	木	金
11:00	自主活動	自主活動		自主活動	自主活動
12:00	小集団活動	自主活動		自主活動	小集団活動

- ※ 毎日通級することも可能です。

7 活動内容

(1) 教育相談

- 自分の思いを整理し、不登校改善のための相談をする



- 継続的な個別の教育相談の実施

(2) 自主活動

- 活動意欲を呼び起こす



- 学習したい教材を持参しての、自主学習
- 読書、編み物、折り紙など個人でできる活動

(3) 小集団活動（スポーツ・室内ゲーム）

- 仲間と共に活動する楽しさを味わい、集団への抵抗を和らげる



- 卓球、バドミントン、バスケットボールなど
- トランプ、ウノ、ボードゲームなど
- 活動内容は児童生徒の希望により決める

(4) 体験活動

- 活動への参加を通して自信をつける



- 他の適応支援教室・相談学級との活動や合同行事



8 年間活動計画

	行 事 等	概 要
春	全国学力・学習内容調査、とちぎっ子学習状況調査	とらいあんぐるでの実施を希望した児童生徒
	校外学習「春の遠足」 ※	施設見学、体験活動など
夏	校外活動「社会科見学」 ※	施設見学、体験活動など
秋	校外活動「冒険活動体験」 ※	野外活動：冒険活動センター
	校外活動「秋の遠足」 ※	施設見学、体験活動など
	全市一斉土曜授業（小・中）	希望した児童生徒が通級
冬	適応指導教室交流学习会 *	県内の適応指導教室との交流
	学習内容定着度調査、学習と生活についてのアンケート	とらいあんぐるでの実施を希望した児童生徒
	校外活動「スケート教室」 *	スケートの体験：市スケートセンター

※は、まちかどの学校との合同の行事です。

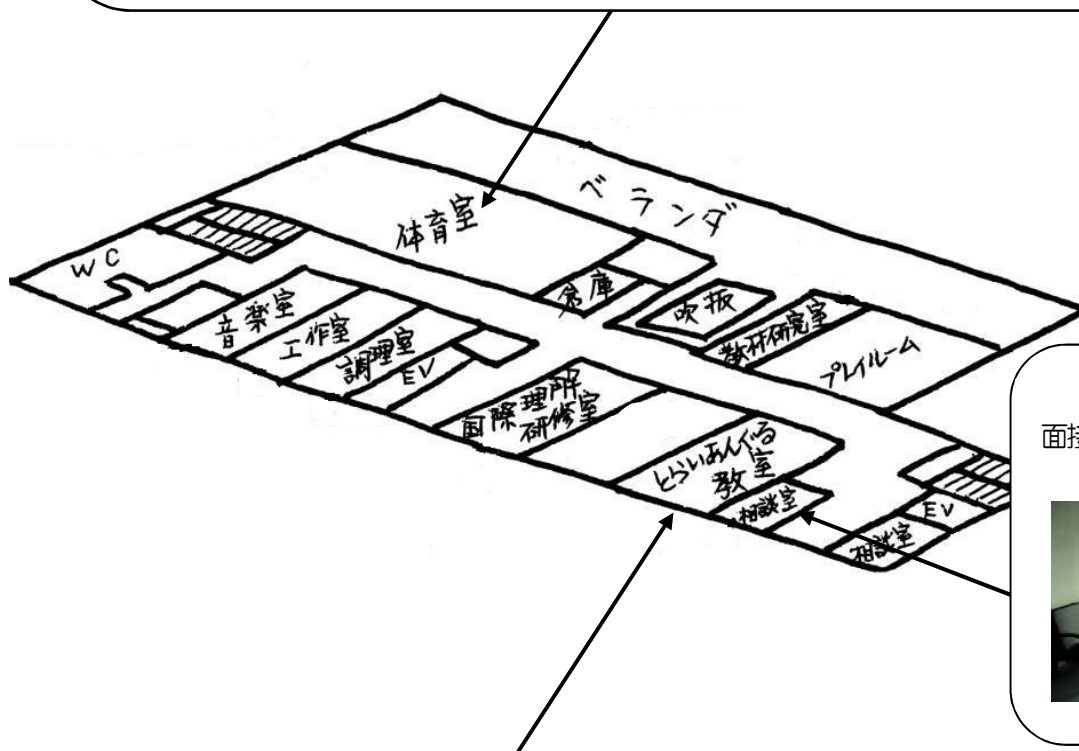
*は、まちかどの学校と相談学級との合同の行事です。

とらいあぐる

宇都宮市教育センター3階見取り図

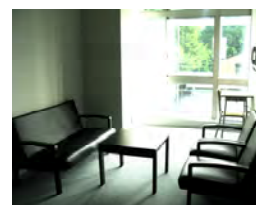
《体育室》

バドミントン、卓球、バスケットボールなど、スポーツ活動ができます。



《相談室》

面接をする部屋です。



《とらいあぐる教室》

自主活動や室内ゲームなどの活動を行います。

教室奥には、ゆっくり過ごすこともできる座敷スペースがあります。



適応支援教室 まちかどの学校

- 1 所在地 〒320-0017 宇都宮市戸祭台46番地1
電 話 689-8995・8996 [保護者・一般用]
689-8997 [学校・教育センター用]
FAX 627-2800



- 2 担当者 教 諭：2名
指 導 員：6名
事務職員：1名
スクールカウンセラー：1名（水曜日）
顧 問：1名

3 対 象

- (1) 仲間と一緒に活動し、学校復帰を目指して自信をつけたい児童生徒
- (2) 自分のペースで少しずつ活動を広げていきたい児童生徒
- (3) 緊張が強く、学校復帰を当面の目標としにくいなど、不登校状態にある児童生徒

4 教室の特色

(1) 個別活動

通級開始直後や不安や緊張が非常に強い場合などは、担当者やボランティアとの1対1の活動やその子の思いや状況に応じた活動を行う。

(2) 目的別の小集団活動（ゼミ活動）

不安や緊張が和らいだり、活動への興味・関心が高まったりしてきた場合や、気持ちが安定して、エネルギーが高まってきたことがうかがえる場合は、目的別小集団活動への参加を促す。

ボランティアの趣味や特技を生かした多彩な活動メニューが設定しており、本人の状況や興味・関心などに応じて参加することができる。

(3) 個別の活動プログラムを編成

パーティションで区切られた学習室や、他の通級生と交流できるスペースがあり、「一人で過ごしたい」、「人目が気になる」、「同年代の通級生と話をしたい」など、状況に応じて活動場所や活動内容を選択できる。

担当者と話し合い、一人一人の状況に応じた個別の活動プログラムを編成する。

(4) 遠足や社会科見学などの行事、調理実習などの体験活動

行事や体験活動への参加については、一人ひとりの課題や状況に応じて、自分の課題を意識して参加できるようにしたり、活動内容を理解した上で自分と向き合う時間を設定したりしている。

5 日 課

時 間	内 容	
9：30～	個別対応・面談など	
	【個別活動】	【小集団活動】
10：00～10：50	個別活動・ゼミ活動など	学 習
11：00～11：50	個別活動・ゼミ活動など	学 習
12：00～13：00	ランチタイム（お弁当）	
13：00～13：50	個別活動・ゼミ活動など	スポーツ、自由活動など
14：00～14：50	個別活動・ゼミ活動など	
15：00～	面談	

※1週間に通級する回数やまちかどの学校で過ごす時間、活動内容については、まちかどの学校での様子などから随時見直しを行い、通級児童生徒と担当とで相談しながら決定する。

6 「まちかどの学校」での過ごし方の例

(1) 通級開始当初の中学生Aさん

時 間	月	火	水	木	金
10:00～ 10:50					
11:00～ 11:50				担当との 個別活動	



- ・木曜日の11時から50分間、週1回の通級から始めました。
- ・個別活動の時間は、担当の先生と事前に相談して活動内容を決め、学習や物作り、面談などを行っています。
- ・通級に慣れてきたら、担当の先生と相談して、10時から50分間はゼミ活動に参加し、個別活動と合わせて2時間の通級にしようかと考えています。

(2) 通級開始当初の小学生Bさん

時 間	月	火	水	木	金
13:00～ 13:50			ゼミ活動 (算数)		
14:00～ 14:50					担当との 個別活動

- ・水曜日は13時から、金曜日は14時から、それぞれ50分間、週2回の通級です。
- ・ゼミ活動は、最初に、担当の先生からボランティアさんを紹介してもらい、その後、見学をしてから参加するかどうかを決めました。
- ・個別活動の時間は、担当の先生と面談し、1週間の生活の振り返りをしています。



(3) 通級に慣れ、小集団の形で、多くの活動をすることを目標にしている、中学生Cさん

時 間	月	火	水	木	金
10:00～ 10:50	学習 ※小集団				
11:00～ 11:50	学習(理科) ※小集団		ゼミ活動 (バドミントン)		担当との 個別活動
12:00～ 13:00			お弁当		



- ・毎週月曜日は、小集団の部屋で過ごしています。10時から自分で決めた教科の学習、11時から、授業形式の学習に慣れることを目標に、ボランティアさんから理科を教えてもらっています。
- ・水曜日のゼミ活動では、他の通級生3名と一緒に、バドミントンを習っています。また、この日は、お弁当を持参し、13時まで過ごしています。
- ・金曜日の個別活動の時間は、担当の先生と面談を行い、1週間の振り返りをしながら、自分の課題を整理したり、来週の目標を立てたりしています。

7 活動内容

(1) 担当者・ボランティアとの個別活動

- ・通級開始直後
- ・不安や緊張が非常に強い



- ・学習…各教科，パソコン
- ・運動…卓球，バトミントン，キャッチボールなど
- ・物づくり…編み物，組み紐，工作など
- ・ゲーム…カードゲーム，ボードゲームなど

(2) ボランティアによる目的別小集団活動（通称：ゼミ活動）

- ・不安や緊張が和らいだ
- ・活動への興味・関心が高まった
- ・心が安定し，エネルギーが高まった



- ・各教科の学習教室
- ・犬とのふれあい・散歩教室，ギター教室
- ・卓球教室，料理教室，陶芸教室など

(3) 自習室でのひとり学習

- ・静かに過ごしたい



- ・パーティションで仕切られた部屋で，人目を気にせず過ごす

(4) 仲間との交流・談話

- ・仲間とおしゃべりがしたい



- ・活動の間に談話コーナーでおしゃべり
- ・お弁当と一緒に食べる
- ・昼休みの時間にゲームをする

8 年間行事予定

	行 事 名 等	概 容 な ど
春	全国学力・学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査	まちかどの学校での実施を希望した児童生徒
	校外活動「春の遠足」※	施設見学，体験活動など
夏	まちかどキッチン①	カレーライス作り
	校外活動「社会科見学」※	施設見学，体験活動など
	保護者面談	通級についての振り返り，目標設定など
秋	まちかどキッチン②	そうめん，天ぷら作り，流しそうめん
	校外活動「冒険活動体験」※	野外活動：冒険活動センター
	県西地区ふれあいキャンプ	希望した児童生徒が参加
	校外活動「秋の遠足」※	施設見学，体験活動など
	学習発表会	作品展示，発表
	全市一斉土曜授業（小・中）	希望した児童生徒が通級
冬	適応指導教室交流学習会＊	県内の適応指導教室との交流
	学習内容定着度調査、学習と生活についてのアンケート	まちかどの学校での実施を希望した児童生徒
	お茶会	茶道体験
	保護者面談	通級についての振り返り，目標設定など
	旅立ちの会（小・中）	通級を終える節目の式
	校外活動「スケート教室」＊	スケート体験：市スケートセンター

※は，とらいあんぐるとの合同行事です。＊は，とらいあんぐる，各相談学級との合同行事です。

《調理室》

調理台が4台あり、個別活動や目的別小集団活動、行事などで調理をする際に使います。調理以外の活動でも使用します。



《多目的室》

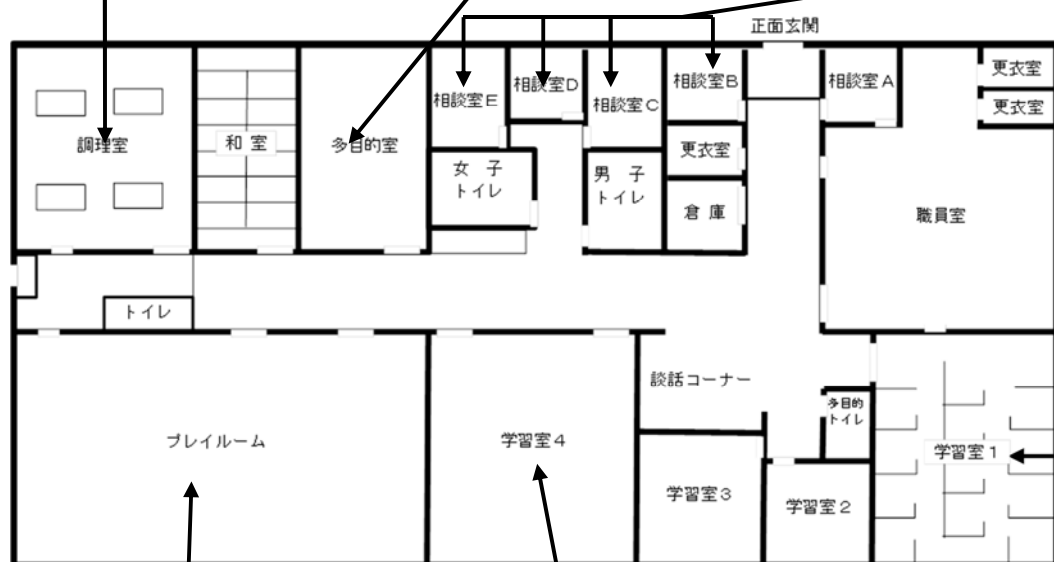
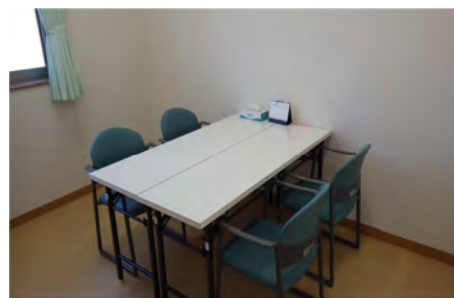
壁が防音になっているので、楽器演奏などの音の出る活動や、集中して静かに取り組みたい活動をするときなどに使っています。



《相談室》

AからEの5つの相談室があり、担当との面談などで使います。スクールカウンセラーに相談することもできます。

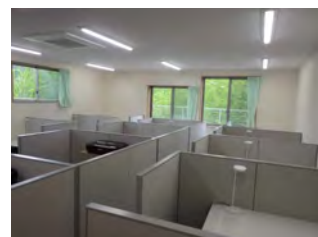
相談室Eでは、箱庭もできます。



《学習室》

学習室1では、パーティションで仕切られた机で、活動することができます。

学習室2・3は、個別活動や目的別小集団活動で使用します。



《プレイルーム》

卓球台があり、個別活動や目的別小集団活動で気持ちのいい汗をかいています。

また、手芸やカードゲームなどの活動も行います。



《つげの木学級(学習室4)》

小集団で、学習などの活動をしたり、一緒に昼食を食べたりしています。

同じメンバーで運動や調理などの活動もしています。



《屋 外》

キャッチボールなどの運動ができます。畑やプランターでは、様々な野菜や草花を育てています。



宇都宮市立築瀬小学校 相談学級 自閉症・情緒障害特別支援学級

1 所在地 〒321-0963 宇都宮市南大通り2-6-6
電話 633-0160 (直通), FAX 651-2348



2 担当者 教諭: 1名
スクールカウンセラー: 不定期

3 対象

- (1) 時間をかけて、じっくりと着実に自信をつけたい児童
 - (2) 原籍校や設置校の通常の学級への復帰を目指したい児童
- ※ 小集団での活動に参加できる見込みがあることが前提であり、原則として欠席状態が続いている児童
- ※ 入級検討会議で入級が適当と判断された児童が対象

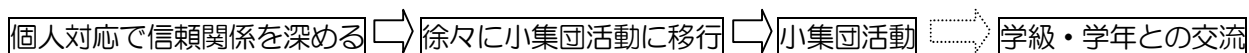
4 学級の特徴

(1) 学校内設置のメリットを生かす

- 校内の様々な施設・設備や教材等の使用が可能であり、学校の日課に準じ、給食や清掃活動などに参加することにより、学校生活のリズムを取り戻すことができる。
- 本校通常の学級の授業や学校行事に参加することを通して、学級外の生徒との交流や、学習体験ができる。また、通常の学級の担当者と連携を図り、復帰に向けて取り組むことができる。

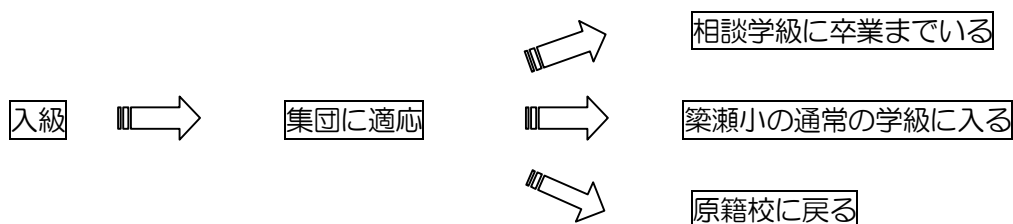
(2) 小集団活動への参加に向けて

- 小集団活動に適応できるよう、初めは生徒と担当者との1対1対応(個人対応)を行い、信頼関係を築いた上で、段階的に小集団に移行する。そのため、一人ひとりのペースに合わせて活動に参加しやすい。



(3) 適応状況に応じた復帰

- 相談学級内で卒業までじっくりと時間をかけて取り組んだり、本校や原籍校の通常の学級に復帰したりできる。



5 日 課

※ 築瀬小の日課になります。

6 過ごし方の例

◎ 登校する日（曜日）・時間などは、児童・保護者との面接により決定し、児童の実態に応じて個人の計画を立てていきます。

(1) 入級まもないAさんの場合

時 間	月	火	水	木	金
14:45～ 15:30					
15:30～ (放課後)				担当との 個別活動(ゲーム)	



「ぼくは、今は放課後に1対1で活動しています。そろそろ6時間目の時間に活動しようと考えています。」

※ 教室・担任に慣れることを目標として支援をしていきます。活動内容も、児童・保護者と相談しながら、学習だけにとらわれず、カードゲーム・アイロンビーズ制作・プレイルームでの活動など、児童が楽しい！と感じられる活動をしていきます。

(2) 安定して登校できるようになったBさんの場合

時 間	月	火	水	木	金
13:50～ 14:35			担当との 個別活動(学習)		交流授業への 参加(国語)
14:45～ 15:30		担当との 個別活動(学習)			

「わたしは、週に3日間、午後だけ登校し、活動しています。楽しくなってきました。」
※ 安定して登校できるようになってきたら、児童・保護者と相談しながら、少しずつ過ごす時間や活動内容の枠を広げていきます。各教科の学習に取り組んだり、交流授業に参加したりすることにも挑戦していきます。



(3) 毎日登校できるようになったCさんの場合

時 間	月	火	水	木	金
10:35～ 11:20	担当との 個別活動(算数)	交流授業への 参加(図工)	担当との 個別活動(算数)	担当との 個別活動(算数)	担当との 個別活動(算数)
11:30～ 12:15	交流授業への 参加(国語)	交流授業への 参加(図工)	担当との 個別活動(社会)	担当との 個別活動(理科)	交流授業への 参加(国語)
12:15～ 13:05			給食		



「わたしは、毎日午前中に登校できるようになりました。次は行事への参加を目標にしています。」

※ 児童・保護者と相談しながら、さらに過ごす時間や活動内容の枠を広げていきます。交流授業への参加教科を増やしたり、一日活動したり、学校・学年行事に参加したりすることにも挑戦していきます。

7 活動内容

(1) 面接相談

- ・心の安定を図り、生活を振り返って家庭や学校でのめあてを決める



- ・自分に合った目標設定
- ・自分の時間割や日課の作成

(2) 学 習

- ・欠席により抜けた部分の学習をする
- ・学ぶことの楽しさを感じる



- ・学年や進度に合わせた全教科の学習
- ・通常の学級への部分的な参加
- ・学校の教具を生かした学習教材の活用

(3) スポーツ

- ・遊びや運動に親しみ、心身を開放する
- ・体を動かして体力をつける



- ・室内運動（プレイルーム・体育館）
- ・学年の体育の授業への参加や小集団でのゲーム
- ・校庭や屋上、プールの活用

(4) 様々な体験活動

- ・体験活動を工夫して学習の幅を広げ、集団への適応力をつける



- ・学校施設や地域の教材を活用した広範囲な体験的学習
- ・実験、調理実習、農園作業など興味関心を喚起する活動

8 年間活動計画

月	行 事 名	概 要
春	校外活動「春をさがしに」	徒歩で校外に出かけ、地域や、自然にふれる
	農園活動	さつまいも・野菜の苗植え
	校外活動「美術館見学等」	公共交通機関利用体験・芸術にふれる
夏	学校のまわり探検	宇都宮駅周辺（旧篠原家見学等）
	お楽しみ会	みんなで計画し、協力して実施
秋	校外体験学習	学校ではできない物作り等の体験を実施（ふくべ細工等）
	秋の遠足	野外での活動（歩け歩けにチャレンジ）：八幡山公園等
	農園活動	春に植えたさつまいもを収穫
冬	適応指導教室交流学习会＊	県内の適応指導教室との交流
	旭中学校相談学級との交流活動（6年生）	中学生とのかかわり、中学校の環境にふれる
	お楽しみ会	進級、卒業を前に協力して心に残る思い出作り
	校外活動「スケート教室」＊	スケートの体験：市スケートセンター

＊は各適応支援教室と旭中相談学級との合同の行事です。

築瀬小学校相談学級



《相談学級・教室》

個人の活動コーナーでじっくりと活動することもできます。



IHヒーターのキッチンでいろいろな物を調理しています。



《プレイルーム》

ボールプールにかくれちゃえ！



とても広くて気持ちいい！



宇都宮市立旭中学校 相談学級 自閉症・情緒障害特別支援学級

- 1 所在地 〒320-0816 宇都宮市天神1-1-42
電話 635-6580 (直通), FAX 651-0509



- 2 担当者 教諭：4名
スクールカウンセラー：不定期

3 対象

- (1) 時間をかけてじっくりと着実に自信をつけたい生徒
- (2) 原籍校や、設置校の通常の学級への復帰を目指したい生徒
※ 小集団での活動に参加できる見込みがあることが前提であり、原則として欠席状態が続いている生徒
※ 入級検討会議で入級が適当と判断された生徒が対象

4 学級の特徴

(1) 学校内設置のメリットを生かす

- ・本校通常の学級の授業や学校行事に参加することを通して、学級外の生徒との交流や、学習体験ができる。また、通常の学級の担当者と連携を図り、復帰に向けて取り組むことができる。
- ・3年生については、希望する進路や生徒の状況に応じて学習の時間を調整し、本校と連携を図りながら進路指導を行うことができる。

(2) 小集団活動への参加に向けて

- ・小集団活動に適應できるよう、初めは生徒と担当者との1対1対応(個人対応)を行い、信頼関係を築いた上で、段階的に小集団に移行する。そのため、一人ひとりのペースに合わせて活動に参加しやすい。

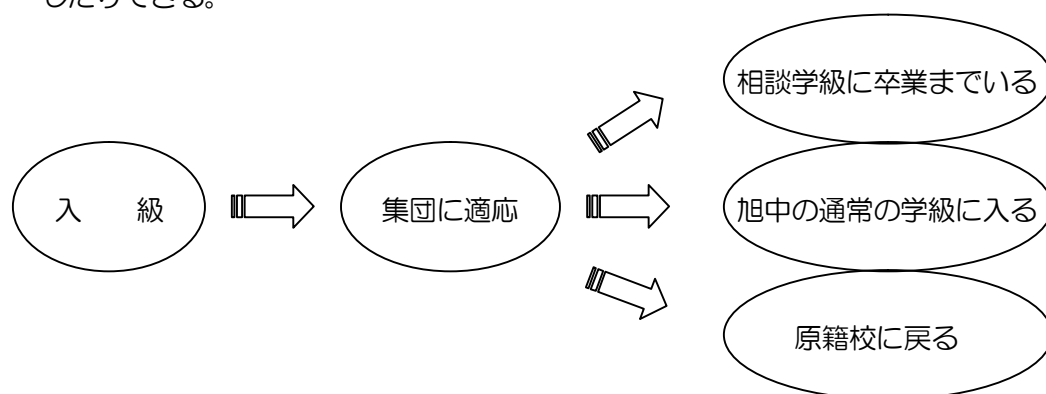
個人対応で信頼関係を深める ⇨ 徐々に小集団活動に移行 ⇨ 小集団活動 ⇨ 学級・学年との交流

(3) 豊富な校外活動

- ・大自然の中でのキャンプや、職場での体験活動、約20～30kmを歩きぬく強歩、学級独自で行う修学旅行など、豊富な校外活動を通して自分を見つめたり自信を回復したりしながら、思い出作りができる。

(4) 適応状況に応じた復帰

- ・相談学級内で卒業までじっくりと時間をかけて取り組んだり、本校や原籍校の通常の学級に復帰したりできる。

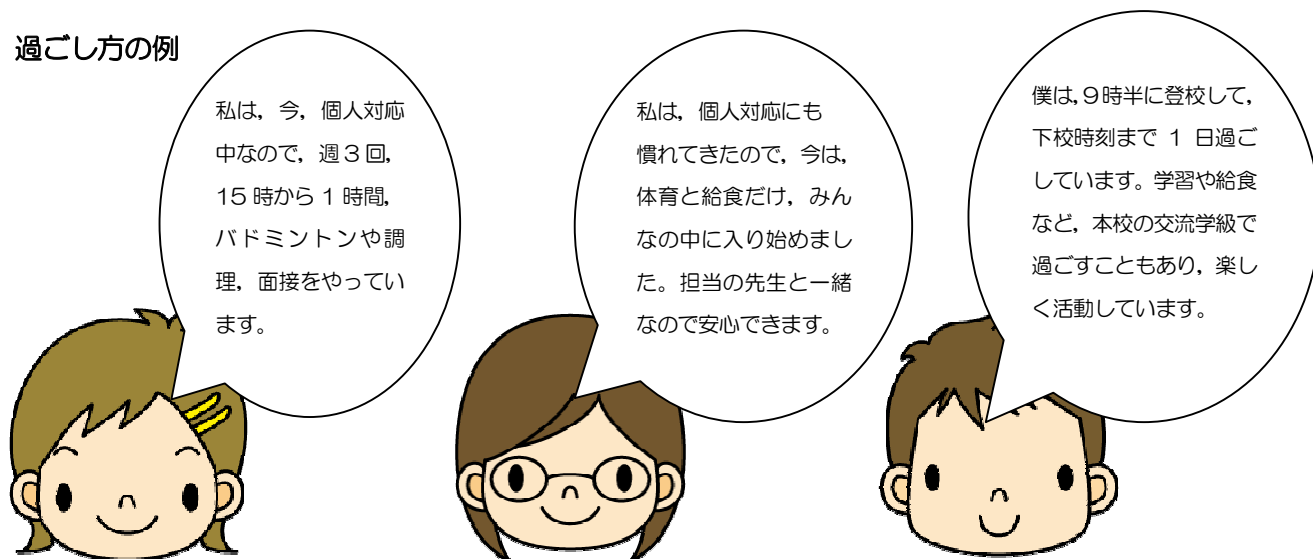


5 日 課

	時 間	月	火	水	木	金
小 集 団 活 動 の 日 課	① 8:45～ 9:30	自 主 活 動				
	9:30～ 9:40	朝 の 会				
	② 9:45～10:35	5教科(学年別)	体 育	5教科(学年別)	体 育	5教科(学年別)
	③ 10:50～11:40	体 育	5教科(学年別)	体 育	5教科(学年別)	体 育
	④ 11:50～12:40	学活・道徳	音楽／美術	総合的な学習	総合的な学習	技術・家庭
	12:40～13:15	給 食				
	3:15～	フリー・面接				
		清 掃				
		帰 り の 会				
	下校時刻	14:45				
個人対応		15:00～16:30				

* 生徒の適応状況により、時間割を調整する。

6 過ごし方の例



【入級まもないAさんの場合】

【安定して登校できるようになったBさんの場合】

【毎日登校できるようになったCさんの場合】

7 活動内容

(1) 面接相談

- 考えや気持ちを整理したり自己理解を図ったりする
- 自ら判断して行動に移す機会にする



- 人間関係や生活、進路など様々な悩みについての相談

(2) 学 習

- 学習の習慣化を図る
- 学習意欲を喚起する



- 5教科、実技教科、総合的な学習
- 学級の小グループでの授業や個別学習
- 本校の授業への参加

(3) スポーツ（体育）

- 体を動かす楽しさや成就感を味わう
- 体力をつけたり仲間意識を育てたりする



- 体育などでのバドミントンやバスケットボール・ユニホックなどの運動

(4) 学校行事

- 通常の学級復帰へのステップにする
- 大きな集団に挑戦し適応力の向上を図る



- 本校での体育祭や儀式的行事など、学校行事への参加

8 年間活動計画

時期	行 事 名	概 要
4 月 ～ 7 月	入学式	全校生と共に行う入学式と、学級独自の入学式
	春の遠足	みんなで八幡山へハイキング
	野外炊飯	キャンプの事前学習として、野外でバーベキュー
	宿泊学習（1泊2日）	キャンプの事前学習として、学級に泊まり共同生活
	修学旅行（1泊2日）	みんなで計画を立て、学級独自の旅行
9 月 ～ 10 月	キャンプ（2泊3日）	大自然の中でテントに泊まり、様々な体験
	級外活動	各自ステップアップした、職場や原籍校など学級外での活動
	秋の遠足	学級のみんなで楽しく遠足へ
11 月 ～ 12 月	体力づくり1・2	強歩に向けて、距離数を伸ばしながらみんなで歩く
	適応指導教室交流学习会 *	県内の適応指導教室との交流
2	強歩	自分との勝負、約20～30kmの道のりを一日かけて歩きぬく
3	立志式	これまでの生活を振り返り、今後の目標を発表
	卒業式	全校生徒と共に行う卒業式と、学級独自の卒業式
	校外活動「スケート教室」 *	スケートの体験：市スケートセンター

*は各適応支援教室と築瀬小相談学級との合同の行事です。

相談学級

1 階

《家庭科室》
調理実習で使います。



《プレイルーム》
第1学習室でもあり、
卓球もできます。

《技術室》
いろいろな道具があり、
物づくりを楽しめます。

《談話室》
和室です。みんなで一緒
にのんびりできます。



《図書室》
難しい本から漫画まで、
そろっています。

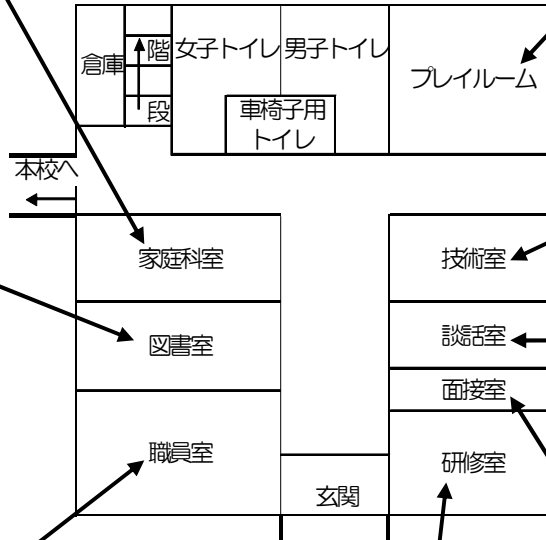


《職員室》
気軽に先生と話
ができます。

《研修室》
授業や給食など、みんなでワイワイ活動する場所です。



《面接室》
落ち着いて、面接したり
相談したりできます。



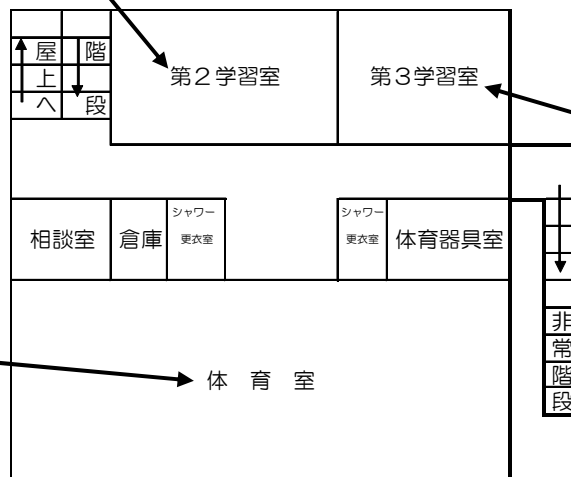
2 階

《第2学習室》
個別でも勉強できる部屋です。

《体育室》
広くて天井が高い、自慢の体育
室です。バドミントンや、バス
ケットボール、ドッジボール、
ユニホックなどができます。



《第3学習室》
一般の教室と同じく机と
いすが並んでいて、授業
で使います



年度別通級者・在籍者数

○ 適応支援教室「とらいあんぐる」通級者数

	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
小学生	2 人	3 人	3 人	2 人
中学 1 年	6 人	人	2 1 人	5 人
中学 2 年	7 人	人	0 人	9 人
中学 3 年	9 人	人	0 人	1 0 人
合計	2 4 人	2 2 人	2 4 人	2 6 人

○ 適応支援教室「まちかどの学校」通級者数

	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	まちかどの学校 姿川教室	つげの木 教室	まちかどの学校 姿川教室	つげの木 教室		
小学生	1 6 人	2 人	1 6 人	1 人	1 3 人	1 2 人
中学 1 年	7 人	3 人	6 人	1 人	1 1 人	6 人
中学 2 年	2 0 人	8 人	1 8 人	8 人	2 3 人	1 7 人
中学 3 年	2 8 人	4 人	2 9 人	6 人	3 4 人	2 4 人
合計	7 1 人	1 7 人	6 9 人	1 6 人	8 1 人	5 9 人



※ 平成 2 8 年 4 月
「まちかどの学校姿川教室」と「つげの木教室」を統合し、新たな適応支援教室「まちかどの学校」として開校

○ 築瀬小学校相談学級在籍者数

	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
小学 1 年	0 人	0 人	0 人	0 人
小学 2 年	0 人	0 人	0 人	0 人
小学 3 年	2 人	0 人	0 人	0 人
小学 4 年	0 人	1 人	0 人	0 人
小学 5 年	2 人	0 人	2 人	0 人
小学 6 年	1 人	2 人	1 人	2 人
合 計	5 人	3 人	3 人	2 人

○ 旭中学校相談学級在籍者数

	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
中学 1 年	0 人	4 人	4 人	1 人
中学 2 年	5 人	0 人	7 人	4 人
中学 3 年	6 人	8 人	1 人	7 人
合 計	1 1 人	1 2 人	1 2 人	1 2 人



各教室・学級における卒業生の進路状況（平成２９年度）

内 訳 関係機関名	卒 業 生 徒 数	高等学校進学						職業 訓練 施設	専 門 学 校	各 種 学 校	就 職	その他 (在家等)
		県 立				私 立						
		全 日 制	定 時 制 (フレックス含)	通 信 制	特 別 支 援 学 校	全 日 制	通 信 制					
とらいあんぐる	10	0	2	0	0	3	3	0	1	0	0	1
まちかどの学校	24	1	2	1	0	5	9	2	2	0	1	1
旭中学校相談学級	7	0	2	1	0	2	2	0	0	0	0	0
合 計	41	1	6	2	0	10	14	2	3	0	1	1

※ 卒業期に通級または、在籍していた数を示しています。



適応支援教室・相談学級Q & A

Q 適応支援教室と相談学級の違いって何ですか？

A 適応支援教室は自分の学校に在籍したまま、相談学級は転校をして旭中や築瀬小の在籍になることが大きな違いです。
また、それぞれに対象とする児童生徒や活動内容が異なります。詳しくは、前項の各教室・学級紹介をご覧ください。

Q 通うときは制服を着なければいけませんか？

A 私服で通うこともできます。
制服で通うことを苦痛とを感じる子のために、私服を着用することもできるようになっています。ただし、私服の場合は華美にならず、休日の遊び着とは区別した登校にふさわしいものを着用するよう指導しています。制服は正しく着用することが約束です。

Q 携帯を持っていきたいのですが？

A 事情がある場合に限っては、認める場合があります。
基本的には、持っていないことが原則です。必要があって持参する場合は、許可が必要です。その際、活動中は一時的に預かって下校時に返すようにしています。

Q 給食はありますか？

A 適応支援教室には、給食はありません。活動がお昼にかかる場合は、お弁当を持参してください。
相談学級は、学校内に教室があるので給食があります。

Q 放課後活動はありますか？

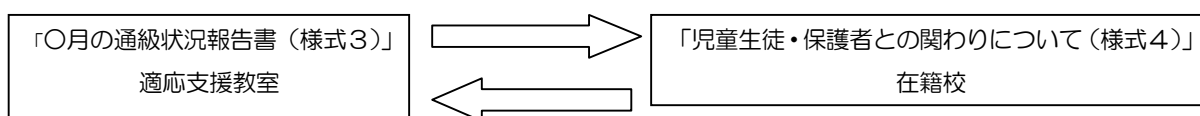
A ありません。
活動終了後は、すみやかに帰宅するよう指導しています。

Q 適応支援教室・相談学級に通級・登校を予定していた日に休む場合は、誰に連絡すればよいのですか？

A 必ず保護者が、各教室・学級あてに連絡をするようお願いしています。

Q 適応支援教室に行った日をどのようにして学校に知らせるのですか？

A 各適応支援教室から毎月通級状況報告書を送付します。いつ通級したのか、どんな活動をしているのかを、在籍校の先生にお知らせしています。
また、学校からも出席の状況を毎月文書で適応支援教室に知らせてもらっています。



Q 適応支援教室や教育センターに行った日は、学校は出席になりますか？

A 校長先生の判断で指導要録上出席扱いとすることができます。また、通知票にも出席として記入することができます。ただし学校には行っていないので、出席簿は欠席（事故欠）として記録されます。



先生方へ

通級に関する出席の扱いについて

- ・ 適応支援教室への通級は、在籍校の校長の判断により、指導要録上の出席扱いとすることが可能です。通知票についてもこれに準じる扱いとなります。なお、指導要録には、備考欄に「まちかどの学校通級 10日」のように記入します。
- ・ 出席簿については、在籍校の教育活動への出席の有無の記録であることから、適応支援教室に通級した場合であっても、その日に在籍校に登校しなければ欠席（事故欠）となります。
- ・ 本市（教育センター）が上半期と年度末に実施の「長期欠席に関する実態調査」や国・県が実施する各種調査においては、出席簿と同様に欠席となります。
- ・ 学習情報システムの入力については、「教育センターキャビネット＞教育相談＞適応支援教室＞出席簿の取り扱いについて（入カマニュアル）」を参照してください。
- ・ 相談学級についても、仮通級中は同様の扱いとなります。